

JSRMPM ニュースレター 2011 年 4 月 11 日

理事長就任に当たって

東京大学医学系研究科法医学・医事法学講座 教授  
吉田 謙一

この度、日本予防医学リスクマネジメント学会名誉理事長の酒井亮二先生から、同学会理事長を引き継ぎました。私は人材難で知られる法医学者ですが、学会が學術の力を養い、社会に貢献できるように、微力ながら、力を尽くす所存です。是非、皆さまのご協力と援助をお願いします。

私は、もともと、心臓突然死の実験的研究者です。一方で、東大に招かれて 10 年余り、異状死や診療関連死の死因究明制度に関する研究にも携わってきました。その中から、解剖情報を遺族に説明し、事故の再発防止や医療の質の向上に役立つ道筋を、法や制度の改革の観点を含めて探り提案してきました。その過程で、国内外の法医、臨床医、看護師、遺族、法律家、ご遺族等と議論し、考える機会に恵まれ、眼を開くことができました。

今回、未曾有の地震・津波の災害に対して、医療者、学者、ボランティアの貢献が改めてクローズアップされました。私も、南相馬市に 1 週間滞在し、検案に従事しながら現地を見てきました。そして、放射線汚染が与える不安と生活上の不便、汚染のあるご遺体の検案の問題にも直面しました。震災後、学者は、原発事故の鎮静化と予防、復興にかかる都市・産業復興計画、電力・経済政策について、国民に近未来のビジョンと具体策の提案を求められています。当面、当学会にとっても、これらは喫緊の課題です。

その他、学会員の皆様の関心の大きな課題を含めて 3 つ位に集約し、学際的な議論、研究を進め、これをもとに政策提言をする方向性を目指そうと考えていますが、いかがでしょうか？率直なご意見をお寄せいただくと幸いです。